



10月21日(土)10:00 ~ つくば市中央公園 憲法9条を守ろう! 10.21県南大集会

日本国憲法は戦争の反省から「恒久の平和」、「国民主権」、「基本的人権の尊重」をねがってつくられました。安倍政権は、そのねがいに反し「安保法制=戦争法」や「共謀罪法」を成立させました。安倍首相は憲法9条3項を加える「加憲」で「平和主義」の死文化をねらっています。

うれしい事として、国民・ヒバクシャの悲願である核兵器禁止条約が国連で成立しました。しかし、現政権は条約に参加しないと明言しています。現政権は国連安保理違反の北朝鮮の動きに対しても、圧力が唯一の方法だとしていますが、対話による解決が求められます。

今こそ、立憲主義を守り、改憲阻止、安保法制=戦争法廃止、共謀罪法廃止、核兵器禁止条約への参加、東海第二原発再稼働反対など平和や生活を守るために本集会に集まりましょう!

たくさんの皆様のご参加をお待ちしています!

日 時：2017年10月21日(土) 10:00 ~

場 所：つくば市中央公園

集会の後にデモ行進、交流会があります。



憲法共同センター 憲法チラシ9月より転載



10・21 国際反戦デーは、1966 年に大義なきベトナム戦争反対のうねりの中で世界の平和を訴える日として日本で生まれました。私たちは、戦争反対を訴え、安保条約を破棄して、平和と暮らしを守るために「10.21 県南大集会」を毎年開催してきました。

日本を「戦争する国」にする改憲を止めさせ、憲法違反の安保法制を廃止し、日本の政治に立憲主義と民主主義を取り戻しましょう。

主催：「安保条約廃棄、平和憲法擁護、いのちと暮らしを守る10・21県南大集会」実行委員会

事務局・お問い合わせ先：学研労協/Tel.029-861-7320